

花のうてなの御詠歌

三宅 勝 作曲
藤間 良輔 振付

準備	1. 扇の表を上にして三つ開きとし散華二枚をのせ右手要をにぎり左手は扇の左に添え合掌の位置に捧げて座につく 2. 正座し終り扇を膝の前 10 cmの所におく (扇の手前の線は膝の線に平行する) 3. 右生と左生の間隔は畳横一枚(約 2m)とする		
唱え奉る 花のうてなの		静かに合掌	
御和讃		右手にて「要」をもち扇をとり左手にもちかえ	
に		左手斜左にうつしつつ右手合掌	
歌	左生		右生
つ	腰をあげ左手を前にうつし		左生と同じ
	右手人差指と中指で華をつまむ		
	右膝を立て人差指と中指に華をはさみ目の高さにささげる		
ゆ	静かに立つ		
の	立ち終り、静かに左足を右足につける		左生と同じ
(休)			
み	右足一步前	この間に 右手は右へ 左手は左へ 遂次うつす	左生と同じ
	左足一步前		
	右足一步前		
は	左足を右足につけ同時に散華する		
こ	右手は片手合掌		左生と同じ
	右足より左まわりで一足長の歩巾で		
こ	前進左足前		
か	右足前		左生と同じ
し	左足前		
こ	右足前		
 に	左足前		

歌	左生		右生	
て	そのまま右生の動きをまち向い合う		右足前	
	左足を右足につける		左足前	
			右足前	
(休)			左足を右足に揃え向い合う	
き	左手の位置から扇を一度に開きつつ斜右上に		左生と同じ	
	右手を伸す 左手はそえて右上の方に伸す		(但し、向い合っているのでこれからの動作は 反対になる)	
え	右手親指にて扇の要をおさえ扇を逆にして体下			
ぬ	腹部前に保ち左手は掌を前にして頭上にたてる			
と	そのまま		左生に同じ(方向は反対になる)	
	腰をわずかにおとしつつ静かに			
も	90° 左へ向く(正面)			
こ	そのまま		左生に同じ(方向は反対となる)	
こ				
ろ	腰をおとしつつ左足をかけて 180°			
は	後へ静かにまわる		左生に同じ	
(休)				
お	右足をかけて左へまわりつつ		左生に同じ (但し動作は反対となる)	
	両手水平に保ち、徐々に			
	体前に寄せながら 90° 廻って			
な	右生と向い合う			

歌	左生		右生	
じ	扇をとじはじめ右足より前進右		左生と同じ	
｜	まわりして遂次速さを増して右			
｜	図の如くまわる(扇は両手で次			
｜	第にとじながら、速度をゆるめて正面向きとなり)			
は	左足より三歩程前進し		左生と同じ	
｜				
な				
の	最後右足を左足に揃え扇を閉じおわる			
う	右足より一歩後退	この間右手下ろして右腿にあて左手に扇をもつて左へうつす	左生と同じ	
｜	左足一歩後退			
｜	右足一歩後退			
て	左足を右足に揃える			
な	右足を少し引き静かに座りつつ右手		左生と同じ	
｜	片手合掌			
｜				
｜				
ぞ	左手を体前に運び右手で扇の要を持ち下におく		左生と同じ	
｜				
｜				
(休)	静かに合掌			
右手で扇をとり左手で支えて右手で左側の帯にさし合掌する				

ポイント注意

【みーはこーこ】(両生の)第一歩の出し方。左生は右足を正面に一歩出してからまわります。

【てーきーえぬ】顔の向き。扇の方向を見ないでください。

【の う ー て】右足と扇の動き。右足を左足に揃えると同時に扇をとじます。そして右足から後ろへ下がります。

【な ー ぞ ー】座り方。右足を引きながら、座るようにしてください。